

ハンドボール No. 9

Japan Handball Association



社会人
 学生
 高専
 高体連
 中体連
 小学生

全国大会
 ブロック大会
 都道府県大会

男子
 女子

試合番号 **アリーナB-女41**

年月日 **2023年7月29日(土)**
 大会名 **令和5年度全国高等学校総合体育大会ハンドボール競技大会**

公式記録用紙

A 白梅学園高等学校										B 福井県立福井商業高等学校									
北海道 函館市					函館アリーナBコート					4回戦準決勝									
前半	A	B	最終結果	A	B	第1延長	A	B	第2延長	A	B	7m7D-ジャスト	A	B					
	16	9		27	17														
7m得点/総数		A 0/0		チームタイムアウト			チームタイムアウト			B 1/2		7m得点/総数							
				1	2	3	1	2	3										
				2219	2216	2524	0245	1254											
No.	白梅学園					G	W	2'	D	DR	No.	福井商業							
1	石黒 櫻子										1	山崎 楓名							
2	佐茂 春陽					3					2 c	吉田 真子							
3	福田 舞希					4					3	近藤 礼佳							
4	木尾 珠里奈					5		1			4	北 穂乃笑							
5	井上 咲稀					3					5	飛山 愛心							
6	長谷川 凜					3					6	鈴木 初菜							
7	普久原 朱怜					5					7	山口 詩織							
8	栗山 華歩										8	大山口 優羽							
10	熊谷 悠帆										9	堀田 柚杏							
11	村松 祐奈										10	川端 暁							
12	佐藤 愛桜										11	木藤 仁知葉							
14	塩釜 優依										12	上野 友樺							
16	多田 陽南子										13	竹内 優来							
17 c	市橋 菜々子					4					14	山田 柚寿							
監督A	須川 文敬										監督A	糸 尚代							
役員B	榎本 満里奈										役員B	小林 寛二							
役員C	田中 久樹										役員C	木村 緒璃							
A	須川 文敬					チーム役員A署名					糸 尚代					B			
特記事項																			

レフェリー	森 裕太	山下 祐輝	森 裕太	山下 祐輝
T D	米内山 壮之	傳法谷 芳子	米内山 壮之	傳法谷 芳子
MO	小橋 太		小橋 太	

得点(G), 警告(W), 退場(2), 失格(D), 報告書付き失格(DR) 特記事項に報告書として内容を記入

ハンドボール No. 10

令和5年度全国高等学校総合体育大会ハンドボール競技大会
高松宮記念杯第74回全日本高等学校ハンドボール選手権大会

試合結果・戦評報告書

競技日	2023年7月29日(土)		会場	函館アリーナBコート	
種別	女子		回戦	準々決勝	
チーム名			チーム名		
白梅学園高等学校			県立福井商業高等学校		
得点合計	小計		小計	得点合計	
27	16	前半	9	17	
	11	後半	8		
		第1延長前半			
		第1延長後半			
		第2延長前半			
		第2延長後半			
		7mTC			

戦評

準々決勝第一試合は、福井商業のスローオフで試合開始。7人攻撃を仕掛ける白梅学園は、立ち上がり31秒にパスカットからNo.17市橋が速攻を決め先制、続けてNo.4木尾が鋭いカットインシュート、流れるような速攻からNo.2佐茂が得点を決め3対0とする。福井商業はたまらずタイムアウトを要求。その後は福井商業もNo.13竹内のカットインシュートで初得点を取ると、点の取り合いとなり、白梅学園は、数的優位を生かしNo.3福田やNo.7普久原のサイドシュートで得点する一方で、福井商業は、No.9堀田のパスカットからの速攻、キーパーNo.1山崎の好セーブ、No.6鈴木のサイドシュートで追いつがる。後半11分以降、福井商業はNo.10川端が高さをいかしたミドルシュートを連続してきめる一方で、7人攻撃への対応もできはじめ白梅学園に食らいつく。しかし、前半23分、白梅学園の12対9から、白梅学園No.4木尾のカットインシュート、No.7普久原のサイドシュートなどで4連続得点し一気に点差を広げ、前半は白梅学園が16対9でリードした。

後半に入り、最初は双方堅いディフェンスにより、暫く攻防が続くが、後半4分に福井商業No.10川端がミドルシュートを決めるなど福井商業が連続得点で11対16とし追い上げを図るが、後半7分に得た7mTCは、白梅学園キーパーNo.16多田が好セーブし流れを渡さない。ここで福井商業は7人攻撃を仕掛けるものの、白梅学園は得点を許さず逆に、No.4木尾のミドルシュート、No.6長谷川のポストシュートなど5連続得点で後半15分までに、21対11まで点差を広げる。6人攻撃に戻した福井商業は、その後、No.9堀田の連続得点に加えて、白梅学園の7人攻撃の隙をついたNo.10川端がパスカットからの得点を相次いで決め、後半23分には、福井商業16対23まで追い上げる。ここで白梅学園もタイムアウト、再開後、福井商業は再び7人攻撃で最後の追い上げを図るも、白梅学園は、No.4木尾のカットインシュートやNo.3福田の速攻、No.2佐茂のミドルシュートと着実に得点を重ね、最後は27対17で白梅学園が勝利し、準決勝に駒を進めた。

記入者

鈴木 将宏